

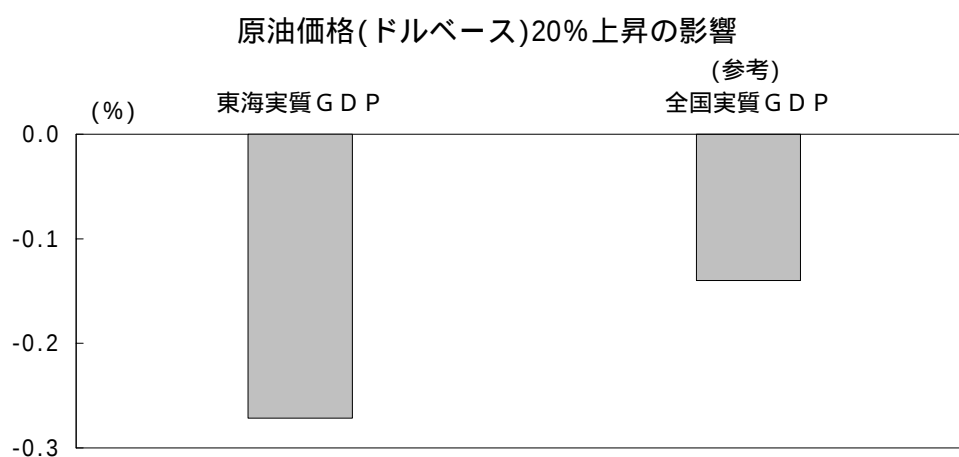
原油価格変動と東海経済

- 計量モデルにより、原油価格（ドルベース）が20%上昇するシミュレーションを行ったところ、東海（愛知、岐阜、三重）の実質GDPは、0.27%ポイント低下した。
- 同様のケースで、全国の実質GDPのマイナス幅は0.14%となっており、原油価格変動の東海経済に与える影響は、全国比2倍近い大きさとなっている。
- 2003年に入り、イラク情勢を巡る緊張の高まり等を背景に、原油価格は高水準で推移している。原油価格がこのまま高止まりし、来年度の平均価格が35ドル/バレルになると仮定すると、2002年度の原油価格29.4ドル/バレル（見込値）に対して19%の上昇となり、東海の実質GDPは0.26%押し下げられると試算される。
- ただし、湾岸戦争時においても、原油価格の年間平均は24.5ドル/バレルにとどまっており、原油価格が高止まりする可能性は低いとみられている。



1．計量モデルによるシミュレーション

- ・計量モデルにより、原油価格(ドルベース)が20%上昇するシミュレーションを行ったところ東海(愛知、岐阜、三重)の実質GDPは、0.27%ポイント低下した。
- ・同様のケースで、全国の実質GDPのマイナス幅は0.14%となっており、原油価格変動の東海経済に与える影響は、全国比2倍近い大きさ。



(注)全国ベースの影響は、内閣府・経済社会総合研究所の分析結果によるもの

2．原油価格高止まりの影響

- ・イラク情勢を巡る緊張の高まり等を背景に、原油価格が高水準で推移している。
- ・原油価格がこのまま高止まりし、来年度の平均価格が35ドル/バレルになると仮定すると、2002年度の原油価格29.4ドル/バレル(見込値)に対して19%の上昇となり、東海の実質GDPは0.26%押し下げられると試算される。

原油価格が高止まりした場合の影響(試算)

(単位:ドル/バレル、%)

	原油価格		東海への影響	全国への影響
		前年比		
2003 年度 仮定値	35.0	19.0	-0.26	-0.13

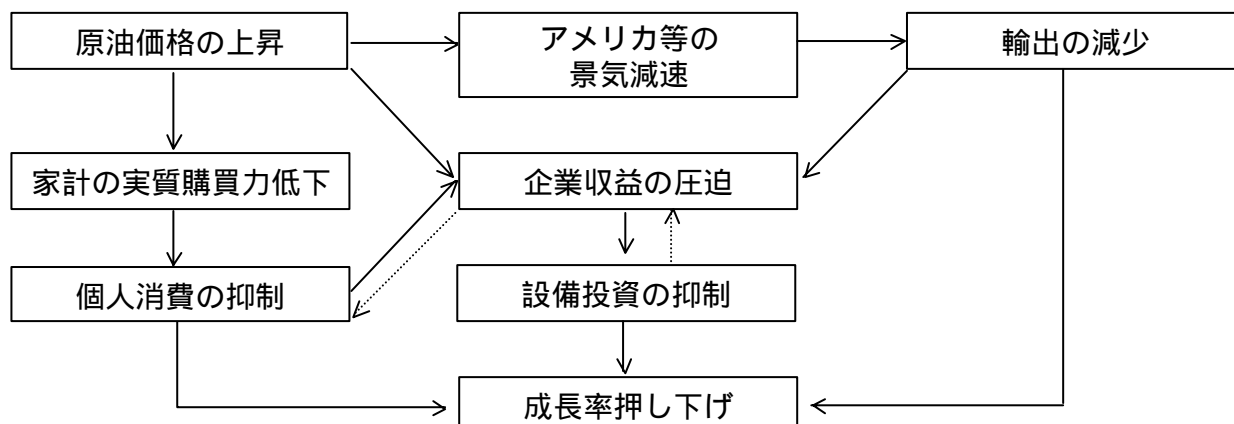
(注)2002年度見込み値はU F J 総研調査部による

- ・ただし、湾岸戦争時においても原油価格の年間平均は24.5ドル/バレルにとどまっており、原油価格が高止まりする可能性は低いとみられている。

1. 計量モデルによるシミュレーション

(1) 原油価格変動が経済に影響を及ぼす経路

- 原油価格の上昇は、実質購買力低下による個人消費の抑制、企業収益の圧迫による設備投資の抑制、海外経済減速に伴う輸出の減少等により、成長率を押し下げ。



(2) 家計と原油価格

- 東海の家計当たり自動車保有台数は1.64台と全国平均の1.37台を上回っている。東海の家計当たりガソリン使用量も、年間630リットルと全国平均に比べて24%多い。

一世帯当たりガソリン消費量(2001年)



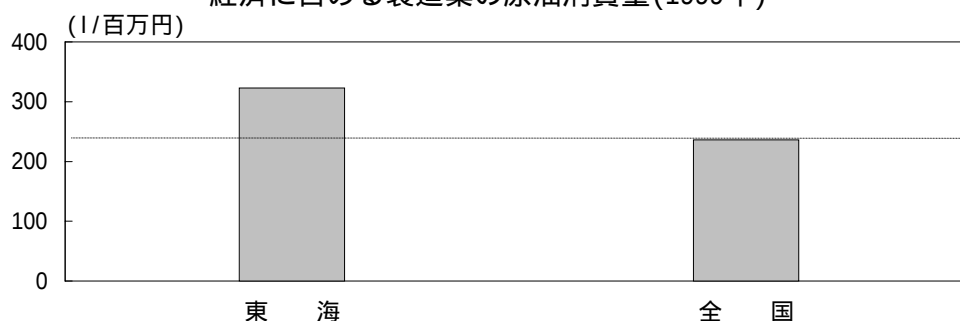
(資料)総務省「家計調査年報」

(注) 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県

(3) 企業と原油価格 - 製造業の原油消費量

- 東海の製造業は、生産規模に対する原油消費量が全国比小さく、省エネ型。
- ただし、地域経済に占める製造業の構成比が高いため、東海の経済に占める原油消費量は、全国平均に比べて大きくなる(補足説明参照)。

経済に占める製造業の原油消費量(1999年)



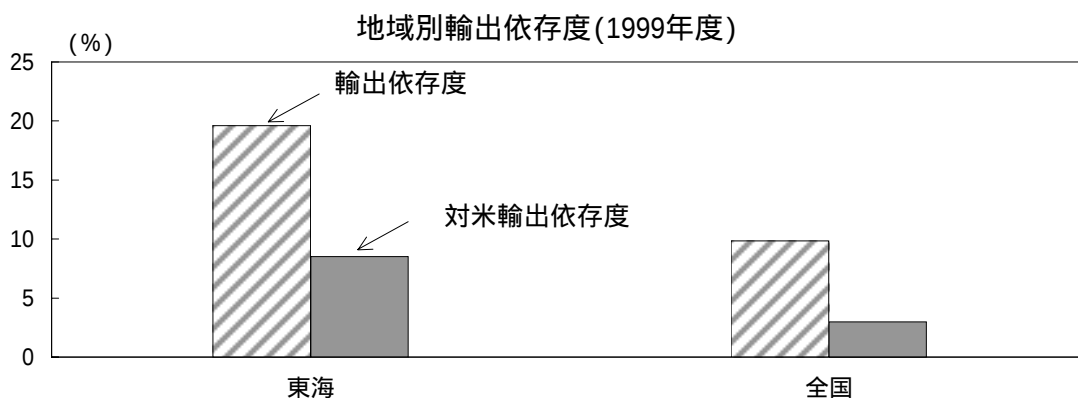
(資料)経済産業省「石油等消費構造統計表」、内閣府「県民経済計算年報」

(注) 1. 原油消費量は、重油や揮発油等の消費量を原油に換算したもの

$$2. \text{経済に占める製造業の原油消費量} = \frac{\text{製造業の原油消費量}}{\text{名目総生産}}$$

(4)企業と原油価格 - 高い輸出依存度

- ・東海の輸出依存度は19.6%と、全国平均の約2倍。



(注)1. 輸出依存度 = 地域別輸出額 / 地域別 GDP

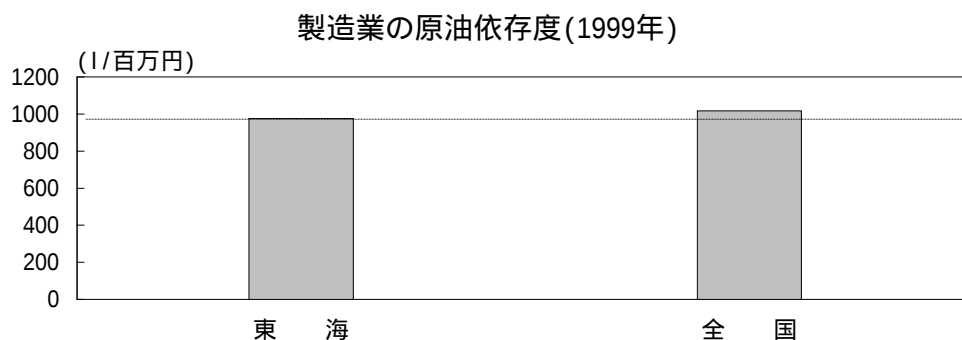
2. 輸出入貨物物流動向研究会「輸出入貨物に係る物流動向調査」等を基にUFJ総研試算

(補足説明)経済に占める製造業の原油消費量

- ・経済に占める製造業の原油消費量は、製造業の原油依存度、と経済に占める製造業の構成比、に分解される(下記算式参照)。

$$\left(\frac{\text{製造業の原油消費量}}{\text{名目総生産}} = \frac{\text{製造業の原油消費量}}{\text{製造業の名目総生産}} \times \frac{\text{製造業の名目総生産}}{\text{名目総生産}} \right)$$

- ・東海では、製造業に占めるエネルギー多消費型産業のウェイトが低いことなどから、製造業の原油依存度は、全国平均に比べて4%低い。



(資料)経済産業省「石油等消費構造統計表」、内閣府「県民経済計算年報」

(注) 1. 製造業の原油依存度 = 製造業の原油消費量 / 製造業の名目総生産

2. 原油消費量は、重油や揮発油等の消費量を原油にしたもの

- ・一方、経済に占める製造業の構成比は高いため、地域全体としてみると原油価格変動の影響を相対的に受けやすいと考えられる。

産業構造の比較(99年度)

(単位: %)

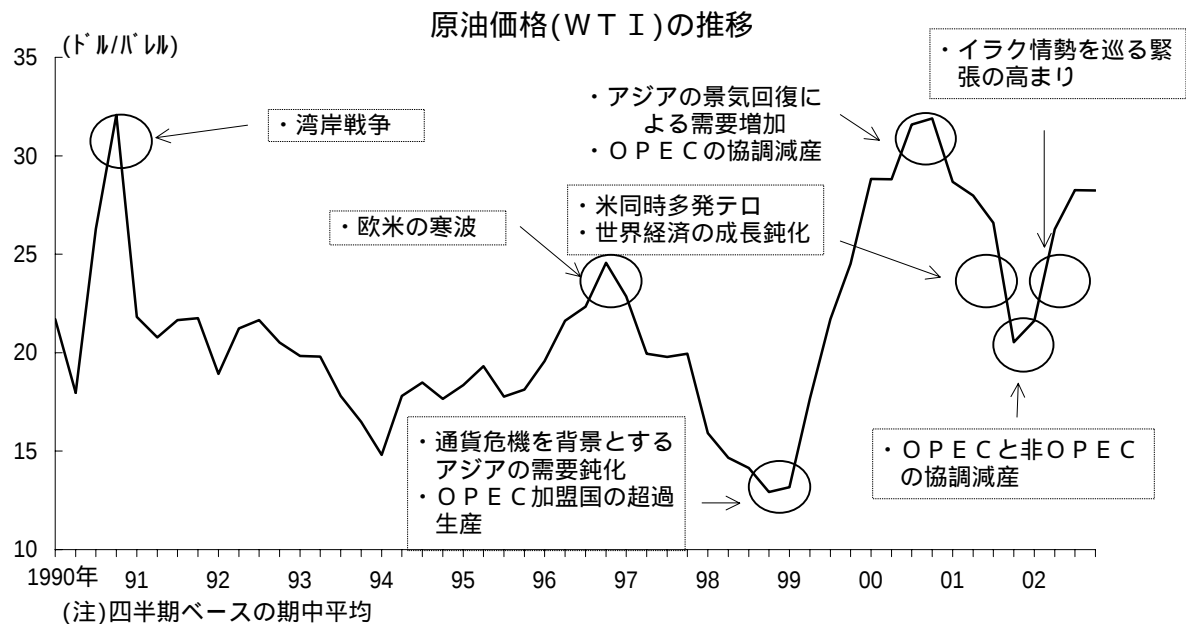
	農林 水産業	鉱業	製造業	建設業	電気・ ガス・ 水道	卸・ 小売業	金融・ 保険業	不動産	運輸・ 通信業	サｰビｽ	政府 サｰビｽ	対家計 非営利	合計
全国	1.3	0.2	22.3	8.0	3.0	12.6	4.5	12.0	7.0	18.8	8.1	2.2	100.0
東海	1.1	0.2	32.1	7.6	2.7	12.0	3.7	10.2	6.4	15.4	6.8	1.8	100.0

(資料)内閣府：県民経済計算年報

2. 原油価格高止まりの影響

(1) 原油価格の推移 - 長期的変動

- ・湾岸戦争時、原油価格の高騰は一時的なものにとどまり、年間平均の原油価格は24.5ドル/バレル
- ・OPECの協調減産により、原油価格が高騰した2000年度においても、平均価格は30ドル/バレル



(2) 原油価格の推移 - 短期的推移

- ・イラク情勢を巡る緊張の高まり、ベネズエラのゼネスト等の影響もあり、1バレル=35ドルを超える高水準で推移。
- ・イラク問題が早期に収束すれば、原油価格も低下する可能性高い。

